

# 山行報告書

報告書作成

2005年5月29日

山名 [山域]	伊吹山(1377m)	目的と方法	お花見鑑賞
登山期間	2005年5月29日(日)	山行形態	日帰り ピストン
参加人数	4名		

## 行動記録

5/29(日) 岩津市民センターP(5:00)===豊田東IC(5:05)===東名===養老SA(6:25)1200円(ETC早朝、通勤割引)===関が原IC( )===登山口PKG(7:00:10)---一合目(7:35)---三合目分岐(8:43 9:15)---四合目(9:15)---五合目(9:30)---七合目(10:30)---伊吹山頂上(11:35,13:00)---八合目( )---五合目(14:45)---三合目分岐(15:25)--- Gondラ上+++ Gondラ下PKG(15:40,) = = = ジョイ伊吹(,) = = 蕎麦「伊吹野」(,)===関が原IC===豊田東IC=====岩津市民センターP

## 概念図



## 日誌

5/29(日)曇り早朝から芳しくない空模様。何とか午前中は 雨の洗礼を受けない事を 祈りつつ、養老SAにて朝食。早朝の通勤割引の恩恵で関が原ICを 何か得をした気分が出る。登山口の駐車場は何処も ガラガラ状態。三宮神社を通り過ぎ 最上部の 駐車場へ(CL・Hさんのお馴染みなのか?500円) いよいよ 登山開始・空は 相変わらず 晴れず・降らずで 登山にはありがたい。登山者は ちらほら。お花見山行ゆえ 我々パーティは、牛歩の如くに進むことで合意。すぐに キンラン・ギンランの歓迎に会う。縁起が良い。珍しくもないが キツネノボタン・ツルニチニチソウ・シロツメクサ・アカツメクサ・スイバ・ニワゼキショウ等が群生して、二合目・三合目の斜面は群生故の 華やかさで楽しめる。Gondラ上の伊吹高原ホテル前の草原は 6月には ユウスゲの群落を想起させる蕾がつけている。今は その草原に アヤメが あちこちと たむろ咲きしている。五合目以上はお花畑が続く、今回最多の群落は オドリコソウである。色は ピンクが多く、濃い目のピンク・白と 微妙な色合いにすっかり 皆オドリコソウのファンになる。六合目から九合目は決して歩きやすい登山道とは言えないが 多くのお花に癒され 元気づけられ、九合目の目標を仰ぎながら 進む。典型的な石灰岩の山なので 草原が発達、樹林帯は殆どない。そのため明るく 晴天なら 登山者はかなり 暑さに苦しめられることになる。今回は 多少な雲行きが 幸いとなった。遅めの ニリンソウ・ヤマブキソウ・アマナ・イブキハタザオ・咲き始めた グンナイフウロ・キバナノレンリソウ・今を盛りと イブキノエンドウ・イブキガラシ・ヤマエンゴサク・イブキシモツケ・ハクサンハタザオ・アケビ 等のお花を 楽しむ。頂上は 大き目のタンポポ イブキタンポポが 黄色く埋め尽くす程咲いている。何とか 琵琶湖が確認できる程度の展望であった。暑くもなく 寒くもない最高の頂上で ゆっくりと 焼きソバの昼食&食後のコーヒータイムを過ごす。ゆっくりと下山 三合目からはGondラ(600円)で一気に 駐車場へ。ジョイ伊吹での入浴(300円)・蕎麦と 計画通りのメニューは 全て 幸せに完了。

## 感想

伊吹山は、登山を趣味にする以外の人にも 知名度の高い山である。多くの人に愛され、飽くことがないのはこの山の歴史的価値・お花の種類豊富さが 近距離にしてしかも手ごろな山行タイムが登山の満足感・充実感の余韻を与えてくれた。入会予定Mさんの人生初の1000m以上の山頂に 立たれた笑顔が印象的であった